ISO/TC 8（船舶及び海洋技術専門委員会）直属のWG担当分

議長：Mr. Yanqing Li（中国）、幹事国（中国）

担当	担当 WG	規格番号	標題	標題（邦訳）	概要	JIS化の状況
TC 8	WG 12	ISO 3725:2023	Ships and marine technology — Aquatic nuisance species — Methods for evaluating the performance of compliance monitoring devices for ballast water discharges	船舶及び海洋技術–バラスト水のサンプリング–遵守監視装置の性能評価手法	バラスト水管理条約が定める排出基準を遵守していることを判断するために、バラスト水の船上排出を迅速に評価するように設計されたコンプライアンスモニタリング装置に適用できるプロトコルについて取り纏めている。コンプライアンスモニタリング装置は、バラスト水管理（BWM）条約で定義されている1つまたはそれ以上の生物または生物サイズ部類を対象とする場合がある。【米国主導】	–
TC 8	WG 11	ISO 7613:2025	Ships and marine technology - Hopper Dredger- Trailing suction tube position monitoring system	船舶及び海洋技術－ドラグサクション浚渫船用トレーリングサクションチューブの位置監視システム	本規格は、ドラグサクション浚渫船用トレーリングサクションチューブ位置監視システムの設計、製造、変更および承認に適用するための設置要件、インタフェース要件、技術要件、試験方法などを取り纏めたもの。【中国主導】	–
TC 8	8933WG	ISO 8933-1:2024	Ships and marine technology — Energy efficiency — Part 1: Energy efficiency of individual maritime components	船舶及び海洋技術－エネルギー効率－第1部：個々の舶用部品のエネルギー効率	本規格は、個々の舶用部品のエネルギー効率を評価するための一般的な測定及び計算方法について取り纏めたもの。【デンマーク主導】	–
TC 8	8933WG	ISO 8933-2:2024	Ships and marine technology — Energy efficiency — Part 2: Energy efficiency of maritime functional units	船舶及び海洋技術－エネルギー効率－第2部：個々の舶用部品の機能ユニットのエネルギー効率	本規格は、機能ユニットと呼ばれるシステムに接続された複数の部品のエネルギー効率を評価するための一般的な測定及び計算方法について取り纏めたもの。【デンマーク主導】	–
TC 8	WG 12	ISO 11711-1:2019	Ships and marine technology -- Aquatic Nuisance Species -- Part 1: Ballast water discharge sample port	船舶及び海洋技術－水棲有害生物種－第1部：バラスト水排出サンプリング装置	本規格は、バラスト水を排水する前に排水パイプから代表サンプルを得るために要求されるサンプルポートの設計および搭載に関する指針を取り纏めている。【米国主導】	–
TC 8	WG 12	ISO 11711-2:2022	Ships and marine technology -- Ballast water sampling and analysis -- Part 2: Ballast water sample collection and handling	船舶及び海洋技術－バラスト水サンプリング及び分析－第2部：バラスト水サンプルの収集及び取扱い	船上におけるバラスト水のサンプル収集及び加工に必要となるサンプリング装置の選定及び使用に関するガイダンス。サンプルプローブ、代表的なサンプリングの制約を満足するための制御能力を有するサンプル収集装置の設計に関する規定も含む。【米国主導】	–
TC 8	WG 12	ISO/WD 11711-3	Ships and marine technology — Ballast water sampling and analysis — Part 3: Analyses of ballast water samples	船舶及び海洋技術－バラスト水サンプリング及び分析－第3部：バラスト水サンプルの分析	バラスト水サンプルを分析し、バラスト水排出基準（D-2基準）への遵守を判断するための手法を取り纏めている。【米国主導】 本規格案は、2020年にISO/TC 8の新規作業項目として承認された後、一向に原案作成作業が進まず廃案となったが、改めて新規提案され、新規作業項目として承認された。 初期WDの意見照会が担当委員会であるISO/TC 8/WG 12関係者間で照会されたが、意見は提出されなかった。	–
TC8	WG 11	ISO 20662:2020	Ships and marine technology -- Hopper dredger supervisory and control systems	船舶及び海洋技術－ドラグ浚渫設備（システム）の標準化	ドラグ浚渫設備（システム）の技術要件、試験方法、検査基準、表示、パッケージング、移送およびストレージなどについて取りまとめたもの。【中国主導】	–
TC8	WG 11	ISO 20663:2020	Ships and marine technology -- Grab dredger supervisory and control systems	船舶及び海洋技術－グラブ（掴上げ）浚渫設備（システム）の標準化	グラブ（掴上げ）浚渫設備（システム）の技術要件、試験方法、検査基準、表示、パッケージング、移送およびストレージなどについて取りまとめたもの。【中国主導】	–
TC 8	WG 12	ISO 23152:2021	Ultraviolet Ballast Water Management System-- Mathematical Modeling and Calculations on Scaling -- RANS-DO Modeling	紫外線バラスト水管理システム－スケーリングに関する数学的モデリングおよび計算－RANS-DOモデリング	紫外線バラスト水管理システム（UVBWMS）のスケーリングに関するRANS-DOモデリングの計算方法を取り纏めたもの。数学的モデリングおよび計算は、システム性能に影響を与える可能性のあるパラメータがベースユニットおよびスケールユニットの間で等しくなるようにしている。スケーリングされたユニットの設計は、潜在的にベースユニットの性能要件を満たすことができるとしている。 また、本規格はUVBWMS上の離散モデルのスケーリングに適用され、ベースユニットとスケーリングユニットの組み合わせには適用されないとしている。【中国主導】	–
TC 8	WG 12	ISO 23314-2:2021	Ballast water management systems (BWMS) - Risk assessment - Part 2: BWMS using electrolytic methods	バラスト水管理システム－リスク評価及び低減－第2部：電解質手法を用いたBMWS	ISO12100に従い電解質手法を用いたBWMSのリスク評価およびリスク低減を実施する際のガイダンス。ハザードの同定およびリスクの予測及び評価のプロセスの手順や例を示す。【中国主導】	–
TC 8	WG 12	ISO 23780-1:2023	Performance test procedure of continuous monitoring TRO sensor in ship use-Part 1: DPD sensors	TRO（バラスト水中の総残留オキシダント）常時監視センサの性能試験手順－第1部：DPDセンサー方式	この規格は、船舶で用いられるTRO（バラスト水中の総残留オキシダント）を常時監視するセンサの性能試験手順を取り纏めたもの。【韓国主導】	–

TC 8	WG 4	ISO 23799:2024	Ships and marine technology -- Assessment of onboard cyber safety	船舶及び海洋技術－船上サイバーセーフティの評価	船上でのサイバーセーフティリスクを評価するための一般的な方法を提供する。それは無線通信と陸上ベースのシステムを除く、船上システム内のネットワーク接続に取り纏めたもの。この規格は、①用語と定義、②船上のサイバーリスク特定、③サイバー資産評価、④サイバーリスク分析基準、⑤規制措置識別、⑥評価の割り当て、から構成される【中国主導】。	－
TC 8	WG 4	ISO 23806:2022	Ships and Marine Technology -- Cyber safety	船舶及び海洋技術－サイバーセーフティ	この規格は、リスク評価手法によるサイバー安全要件を定めたものであり、SMS（Safety Management System）（ISM Code［国際安全管理コード］で求められている要件を満たす安全管理システム）に組み込んで運用されることを想定したもの。船舶管理者に求められているSMSの策定・実施・維持の活動に併せて運用されることで、サイバー安全の継続的な改善が図られるとしている【英国主導】。 これまでの国際審議の結果、NISTフレームワークを基礎として書き直すことになっている。国内での検討はこの書き直しが終了してから行う予定であったが、NISTフレームワークへの書き直しをすることなく、CD省略投票が開始された。ISO様式にも沿っていないことから、NISTフレームワークへの書き直し及びISO様式に基づく修正を求め、日本は「反対」をした。しかし、DIS投票では、NISTフレームワークに沿った要件になっていないものの、SMSで要求されている事項を定めているだけで実害はないことから賛成の日本回答を提出した。 2022年6月28日開催のISO/TC 8/WG 4会議において、ISO内のマネジメントシステム委員会であるマネジメントシステム・タスクフォースから、マネジメントシステム規格としてISO/IEC Directives Part 1の附属書SLに準拠させる必要が指摘され、TC 8幹事とISO中央事務局で対応を協議中であったが協議が終了した。	－
TC 8	WG 12	ISO 23817:2026	Ships and marine technology — Ballast water management systems (BWMS) — Procedures for commissioning and testing BWMS using electrolytic methods	船舶及び海洋技術–バラスト水処理装置(BWMS)–電解法を使用したBWMS の試運転及び試験の手順	船舶への設置後に電解法を使用してバラスト水処理装置(BWMS)の試運転試験を行うためのガイダンスを取り纏めることを目的としている。【中国主導】 タイトルを「Commissioning testing procedures for BWMS using electrolytic methods」から「Procedures for commissioning and testing BWMS using electrolytic methods」に変更することが承認された。 2026年1月12日を投票期限としたDIS投票は、特段の反対なく承認された。 2026年8月に制定。	－
TC 8	WG 14	ISO 24438:2023	Ships and marine technology — Maritime education and training — Maritime career guide	船舶及び海洋技術－海事教育及び訓練－海事キャリアガイド	この文書は、ジェンダーによる区別なく、キャリアの拡大に寄与することを目的に、海事業界への就業に当たってどのような業務にどのような学習が必要であるのかをリストに纏めたもの。海事業界の仕事を以下の15の領域に区分し、各々の領域でどのような職業があり、その職に就くためにはどのようなキャリアが必要かをリスト化している。【パナマ主導】	－
TC 8	WG 14	ISO/WD 24821	Ships and marine technology — Maritime education and training — Qualification and Training Standards for Commercial Marine EOD & UXO Operations	船舶及び海洋技術－海事教育及び訓練－商業用海中不発弾処理のための資格および訓練基準	この文書は、民間による商業プロジェクトにおいて、地上および水中、沿岸および沖合で不発弾の調査および廃棄作業を実施する人員の要件と能力を取り纏めるもの。この文書は、核弾頭の調査および廃棄に携わる人員については対象としていない。【英国主導】	－
TC 8	WG15	ISO/DIS 25283-1	Ships and marine technology — Ocean Negative Carbon Emissions and Carbon Neutrality (ONCE-CN) — Part 1: General guidelines and requirements	船舶及び海洋技術 –海洋マイナス炭素排出とカーボンニュートラル（ONCE-CN）– Part 1 : 一般的なガイドラインと要件	用語と定義、技術的範囲、データ品質、報告要件を含む、海洋マイナス炭素排出とカーボン・ニュートラル（ONCE-CN）の一般的なガイドラインと諮問仕様を規定する。 この文書は、海洋炭素吸収源の研究、開発、実施、評価に関わる活動に適用される。この文書は、海洋マイナス炭素排出の分野における世界的な協力と標準化を促進し、関連する技術と方法に関するガイダンスを提供することを目的としている。【中国主導】	－
TC 8	WG 12	ISO/AWI 26913	Ships and marine technology — Aquatic nuisance species --Technical requirements for reception of ships' ballast water	船舶及び海洋技術－水棲有害生物種－船舶のバラスト水の受け入れに関する技術要件	この文書は、船舶から陸上へのインターフェース、受入パイプライン、受入設備、処理技術、および船舶のバラスト水の外部受入プロセス中のモニタリングなど、関連する技術的側面を取り纏めたもの。【中国主導】 2026年9月24日〆切のNP投票が承認された。	－
TC8	WG 4	ISO 28004-2:2014	Security management systems for the supply chain -- Guidelines for the implementation of ISO 28000 -- Part 2: Guidelines for adopting ISO 28000 for use in medium and small seaport operations	サプライチェーンのためのセキュリティマネジメントシステム－ISO 28000の実施のための指針－第2部：ISO 28000を中小港湾のオペレーションに適用するための指針	ISO 28000を中小港湾のオペレーションに適用するに際しての指針として自己認証基準を取り纏めるもの。	－
TC8	WG4	ISO 28007-1:2015	Ships and marine technology -- Guidelines for Private Maritime Security Companies (PMSA) providing privately contracted armed security personnel (PCASP) on board ships (and pro forma contract)	船舶及び海洋技術－民間武装警備員を供給する民間海上警備会社に関する指針（及び見積り契約書）	危険海域における海賊対策として乗船させる民間警備員を供給する民間海上警備会社が具備すべき事項を取り纏めたもの。BIMCOが作成した標準契約書を附属書Aとして添付している。 ※ISO 28007として作業が開始されたが、ISO 28007-2の作成作業開始に伴いISO28007-1に変更	－

TC 8	WG 3	ISO 29400:2020	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Ports and marine operations	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－港湾及び海洋での作業	鋼製基礎およびコンクリート製GBS（gravity base structure）、鋼製基礎パイル、サブシーテンプレート、風力タービン発電機の構成部品である鋼製タワー、ナセル、羽根等のオフショア構造物の港湾及び海上での作業に係る要求事項及び手引きを取り纏めたもの。 この規格は、追加モジュールの搭載や構成部品の交換といった既設構造物の変更にも適用可能である。なお、この規格は海洋環境にさらされない陸上の建設作業、オフショア構造物の供用期間中の海上でのルーチン作業や潜水作業には適用できない。	－
TC 8	WG 3	ISO 29404:2015	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Logistics -- Supply Chain Information Flow	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－ロジスティクス－サプライチェーン情報フロー	洋上風力エネルギー施設の建設時又は保守時における構成部品のサプライヤーから建設サイトまでの物理的移動を制御するためのメッセージの内容及びフォーマットを取り纏めるもの。	－
TC8	WG 6	ISO 30000:2009	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Specifications for management systems for safe and environmentally sound ship recycling facilities	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－安全で環境に優しいシップリサイクル施設のマネジメントシステムの仕様	国内基準及び国際基準に従って安全で環境に優しいシップリサイクル作業を実施するために必要な船舶のリサイクルマネジメントシステムの一連の手順、ポリシー及び目的についての要求事項を取り纏めたもの。	－
TC8	WG 6	ISO 30002:2012	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Guidelines for selection of ship recyclers (and pro forma contract)	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－シップリサイクル事業者選定のための指針（及び見積契約書）	船舶所有者に対するシップリサイクル施設選定の際の選定プロセスや契約フォーマット等の指針について取り纏めたもの。	－
TC8	WG 6	ISO 30003:2009	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Requirements for bodies providing audit and certification of ship recycling management	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－シップリサイクルマネジメントシステムの監査及び認証を行う団体の要件	ISO30000の規定に沿ったシップリサイクルマネジメントシステムに係る監査及び認証業務を行う組織・団体への原則及び要求事項を取り纏めたもの。	－
TC8	WG 6	ISO 30004:2012	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Guidelines for the implementation of ISO 30000	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－ISO 30000の実施のための指針	ISO 30000の原理・原則を解説するとともに各要求項目の趣旨、典型的インプット、プロセスと典型的アウトプットについて記述し、ISO 30000の包括的な指針を取り纏めたもの。	－
TC 8	WG 6	ISO 30005:2024	Ships and marine technology -- Ship recycling management -- Information control for hazardous materials in the manufacturing chain of shipbuilding and ship opearations	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメント－造船の製造チェーン及び船舶運航時における有害物質の情報管理	有害物質のインベントリ開発に関するガイドラインIMO Resolution MEPC. 269(68) との整合を目的とした改訂【中国主導】。 2012年版との改訂点は上記の反映を規格全体に施したほか、ISO中央事務局指摘に基づき、マネジメントシステム規格ではないことを明確にするため、規格名称から「System」を削除している。	
TC8	WG 6	ISO 30006:2010	Ship recycling management systems -- Diagrams to show the location of hazardous materials onboard ships	シップリサイクルマネジメントシステム－船上に存在する有害物質の場所を示す図表	シップリサイクル条約で義務付けられている有害物質一覧表（インベントリ）に関するシップリサイクル業者の理解を助けることとなる船上に存在する有害物質の場所を示す図表に係る要求事項を取り纏めたもの。【日本主導】	－
TC8	WG 6	ISO 30007:2010	Ships and marine technology -- Measures to prevent asbestos emission and exposure during ship recycling	船舶及び海洋技術－シップリサイクル時のアスベスト飛散と曝露防止対策	シップサイクルの際に船舶に使用されているアスベストの発じんを抑制して、一般環境への飛散及び作業者の暴露を防ぐための有効な方法について取り纏めたもの。【日本主導】	－